

海外安全対策情報
2018年1月～3月

在オークランド総領事館

1 治安情勢・一般犯罪の傾向

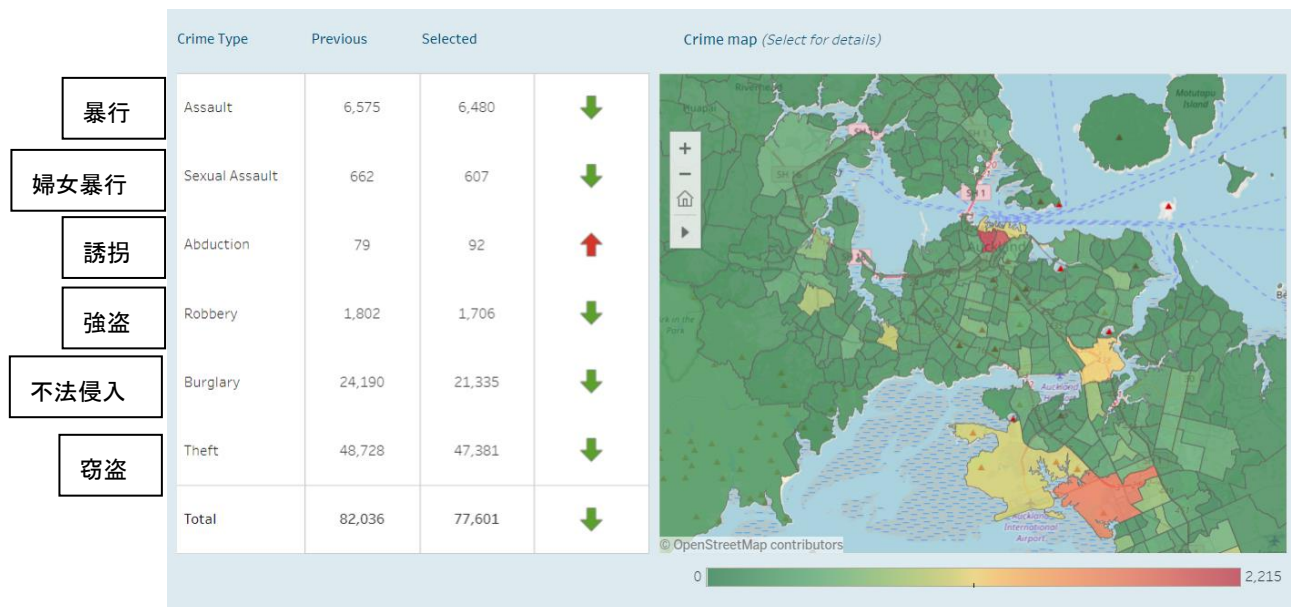
(1) 一般治安関係

NZ国内では、これまで大きな治安上の問題は起きていません。

しかし、NZでは強盗や侵入窃盗、車上狙いや繁華街での暴行事件が多く発生しています。そのため防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織メンバー同士の抗争も発生しているため、争いに巻き込まれることのないよう繁華街等では、特に注意してください。このほかNZ国内での覚醒剤押収量が前年比3倍増となるなど、薬物汚染が社会問題化しています。NZ政府は治安対策強化のため、今後4年間で約1,100名の警察職員増員(約10%増)を決定し、組織犯罪対策や各種犯罪の対策を行っています。

(2) オークランドの犯罪傾向

2017年4月～2018年3月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。



<https://www.police.govt.nz/crime-snapshot>

(3) 地図で見る犯罪発生件数

2016年6月10日、NZ HERALD紙はウェブサイトにて「地図で見る犯罪発生件数」を掲載しました。下記リンクにアクセスして、あなたがお住まいの地域の状況をチェックしてみてください。

<http://insights.nzherald.co.nz/article/assaults-in-public-places>



2 テロ・爆弾事件発生状況

(1) ニュージーランド国内には、テロ組織及び反政府武装勢力の存在は確認されておらず、国外のテロ組織と関連を有している勢力の存在も確認されていません。しかしながら、2014年11月、ジョン・キー首相（当時）はISILに関する講演の中で、「ニュージーランド国民は国際テロリズムの危機と脅威にさらされている」と発言しています。

(2) ニュージーランド政府は2015年2月にイスラム過激派組織ISILと闘うイラク軍の能力を高めるため143名の軍人派遣を決定しました。これに関連して、キー首相は「すでにISILはニュージーランドで要員のリクルートに成功しており、またニュージーランド国内では35~40名が監視対象となっている」旨発言しています。

(3) 2015年11月にパリで発生したテロ事件を受け、キー首相は次のように述べています。

「ニュージーランドは他国から地理的に離れていること及びインテリジェンス監視ネットワークに加盟していることもあり、他国と比べ、テロリストから攻撃を受ける脆弱性は低い。しかしながらテロリストの間で行われる精巧な通信技術の高まりにより、その活動

を探知することが困難な状況となっており、ニュージーランドがまったく影響を受けないという保障はない。政府はニュージーランド国民に対して、全力を尽くす責任を負っており、異常で不相当と考えるいかなる行動についても監視するが、その全ての情報を得られるという保証はない。」

(4) また、「NZの大学で工学を学んだ留学生が、海外で自爆テロ用の爆弾を製造していた」、「アメリカ政府が中東在住のニュージーランド人を国際テロリストに指定した」といった報道もみられます。

(5) なお、現在ニュージーランドのテロ脅威度は「とても低い(6段階中下から2番目)」から「低い(6段階中下から3番目)」に一段階上昇しています。

3 当地の主な事件・事故

(1) ドローンによるフライト遅延

3月、羽田空港からオークランド空港へ到着予定の Air NZ 92 便が、滑走路付近にて飛行中のドローンを発見し、500Km 離れたパーマストンノースの空軍ベースに緊急着陸。この影響で、オークランド空港は航空機の離発着を30分停止、安全が確認されるまで着陸予定だった約20機がオークランド上空にて待機することになった。

オークランド空港では2月も2件、ドローンによる異常接近があった。1件については278名の乗客を乗せた成田発オークランド着の飛行機が空港に降下中、ドローンと数メートルの至近距離であることが発覚、エンジンにドローンが吸い込まれる心配があった。

このような事件にかかわった場合 \$5000 の罰金が科せられることになっている。

(2) 婦女暴行事件 マウントアルバート

事件は2月25日午後8時頃発生。

マウントアルバート、スプリングリー通り (Springleigh Avenue) にて車の鍵をかけていた女性が、近づいてきた男に背後から襲われた。

男は現在も逃走中であり、警察は行方を追っている。

4 日本人の犯罪被害

場所 オークランド市内ショッピングセンター

被害者 日本人女性 (50代)

ショッピングセンター内の ATM で現金数百ドルを下ろした後、隣接したスーパーマーケットで買い物を済ませ駐車場へ向かった際、男数人に囲まれカバンを強奪される。犯人らは被害者が ATM で現金を入手するところから目を付け、チャンスを狙っていた模様。

場所 オークランド市内のストリートパーキング

被害者 日本人男性（20代）

車の座席にカバンを置いたままレストランで夕食。3時間後、車に戻ると窓ガラスが割られバックがなくなっていた。パスポート、洋服、家の鍵などが被害に。